

# コロナに負けず「結」を大切にしていきたい

下関市の成人式は会場が3つあり、それぞれ特徴のある成人式が行われてきました。

本庁管内下関市成人の日記念事業実行委員会では、令和3年成人式のテーマを決めていました。

## #これまでの出会いに感謝

これまでの人生でお世話になった人たちや育ててくれた両親に感謝の気持ちを持って、人生の節目を迎える意味が込められています。

## #故郷の宝物と共に

下関市は多くの自然に囲まれ、素晴らしい故郷(まち)であり、生まれ育った故郷(ふるさと)、人々を大切にしたいという意味があります。

## 結

「結」には人と人を結び、助け合うという意味があります。コロナ禍で不安な中、いろいろな人たちが協力し、コロナに負けず、最高の成人式にしたいという願いを込めました。



上村杏弥さん  
【川中中学校出身】

実行委員の上村杏弥さんが思いを話してくれました。

「初対面の方をまとめたり、式典後の抽選会の協賛品を集めたりするのが大変でした。協賛品を出してくださった企業の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいでした。一生に一度の成人式が中止になり、悔しいです。せめて、みなさんにワクワク感を楽しんでいただこうと思い、実行委員会で抽選会をすることにしました」



## はたちの抽選会

本庁管内の対象の方へはがきを発送しています。

結果を市ホームページからご確認を！



# 結

#これまでの出会いに感謝

#故郷の宝物と共に

～ 令和3年本庁管内成人式のテーマ～



本庁管内下関市成人の日記念事業実行委員会の皆さん

## ◆ 二十歳のメッセージ ◆

- ◆ 20年間、沢山の愛と幸せをありがとう。倍にして返せるように精一杯頑張ります。／松島碧月
- ◆ 心の拠り所となる家族友人に恵まれ、今日という日を迎えられました。ありがとう。／廣重翔太
- ◆ 多くの方の支援を受け学んでいることに感謝しています。成長と未来のために歩みます。／安村凜
- ◆ 母をはじめ多くの出会いと周りの人の愛情を受け、生きてこれました。ありがとう！／岡本直也
- ◆ 周りの環境に恵まれて育てていることを改めて実感しました。自由に人生を楽しみます！／原野吹雪
- ◆ 祝.成人。祖父母、両親、地域の方に感謝。HoMeS (協育ネット)の一員として地域に恩返しします！／森岡司
- ◆ 20年の間で学んできたことをこれからも大切にしていきたいと思います。／坂田千夏
- ◆ みんなに会えなくてとても残念でしたが、またいつか会える時を楽しみにまた頑張ります！／伊藤理々子

## ◆ 二十歳のヘアドネーション ◆



成人式が終わったら、ヘアドネーションをしようと思って、高校生の時から髪を一度も切らず伸ばしていた大浦千亜沙さん。成人式が中止になったので、家で振袖を着て写真を撮り、髪を切ることにしました。切った髪は集められて、白血病などで悩みを抱える子どもたちのためのウィッグになります。子どもが好きな大浦さんは「困っている子どもの役に立てばうれしいです」と話してくれました。

下関市(菊川・豊田)成人の日記念事業実行委員会では、思い出ムービーを作ったり、抽選会の商品を用意したりしていました。

思い出ムービーは、成人になる本人の幼少期と今の写真、親御さんへのメッセージを集め、編集して作りました。

実行委員の岡本さんが思いを話してくれました。

「写真は手分けして集めました。連絡がつかない方や遠くにいる方もいました。試験と重なって、大変なときもありましたが『みんなを楽しませたい』『思い出に浸ってほしい』という思いでやってきました。成人式が中止になって、残念です。同級生とは『40歳で集まるのも良いね』という話もしましたが、久しぶりに会う同級生や恩師とも語り合いたかったです。思い出ムービーはみんなに見て欲しいので、見てもらえる方法を検討しています」



岡本さんは小学6年生のときにみんなで「二十歳の自分へ」という手紙を書き、**タイムカプセル**を作っていました。成人式で開ける予定だったので、小学校へ取りに行き、感染症対策をして、集まることのできた人で各自の手紙を見たそうです。「みんな内容を覚えていませんでしたが、

仲の良い友達や好きな人の名前を書いていて、盛り上がりました。『花屋さんになりましたか?』と書いていた同級生が、花関係の仕事をしていたのすごいと思いました」と岡本さん。「手紙を読み、自問自答しました。二十歳を迎え、大人としての自覚を持ち、親孝行も視野に入れて行動しよう」と改めて思いました」

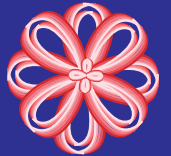


岡本直也さん  
【菊川中学校出身】



下関市(菊川・豊田)成人の日記念事業実行委員会の皆さん

## 令和3年 二十歳の思い



### ◆ はたちの提言／市長のメッセージ ◆

成人式で、はたちの提言を予定していたお二人の提言を要約してご紹介します。他にも発表する予定だった提言を、新成人の方に読んでいただいています。市長からのメッセージも掲載していますので、市ホームページよりご覧ください(4頁QRコード参照。6月1日から公開)。



体育教員になり、高校野球を指導したい

打田啓将さん／夢が丘中学校出身

現在、日本体育大学で体育教員を目指し、スポーツをはじめ、スポーツマネジメントなどを学んでいます。在籍している硬式野球部には、200人を超える部員があり、途中で引退するチームメイトもいます。このような中で、続けることができたのも、裏方に回り支えてくれるチームメイトがいるからです。これまでの人生でも、多くの方々に支えていただいたおかげで今の自分があります。学んでいることを生かし、一人の人間として、社会人としてまた教師として誰かの支えになれるような人物を目指したいと思います。



写真やデザインなどを通してできることを精一杯やりたい

川部那萌さん／豊北中学校出身

現在、山口県立大学でデザインを通して地域の魅力を発信していく手法を学んでいます。今後も写真やデザインなどを通して、私にできることを精一杯頑張っで尽力していきたいと思います。どんなときでも、家族や恩師の方々、友人、地域の方々等に支えていただき、成長することができました。そのことに心から感謝するとともに、今後も一つ一つの出会いや学びを大切に、これまでいただいていたお言葉やお気持ちを他の誰かに繋げていき、このご恩を自分の言動をもってお返ししていく所存です。